

教育研究データ			
1. 氏名	三田 幸司		
2. 生年月	1964 年 5 月		
3. 取得学位	博士（教育学）		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
（１）教育内容・方法の工夫	2017 年 4 月～	①情報端末等を活用した授業方法の工夫，改善を行うとともに，データベースで資料を公開して授業外における学生の自律学修の促進を図っている。	
	2018 年 4 月～	②学生の理科室経営力の育成と，授業外における模擬授業向けの予備実験および研究活動の促進のための取組みとして，小学校の理科室を意識した教室整備を行っている。	
（２）教育方法・教育実践に関する発表，講演等	2012 年 3 月	①「ロウソクの火が消える原因に対する児童の概念変化に関する研究—混合気体による児童実験を採り入れた学習内容の効果の検証」，広島大学附属三原学校園研究紀要，第 2 集，pp.77-84.	
	2014 年 3 月	②「新たな科学観に基づいた授業づくりのポイントと授業の事例—合意形成を志向したコミュニケーション活動に焦点をあてて—」，広島大学附属三原学校園研究紀要，第 4 集，pp.89-94.	
5. 研究業績			
（１）著書	単著 共著 の別	発行の 年月	発行所
①キーワードから探るこれからの理科教育	共著	1998 年 8 月	東洋館出版
②初等理科教育学	共著	2002 年 6 月	協同出版
（２）学術論文	単著 共著 の別	発行の 年月	掲載紙および巻/号，頁
①小集団での話し合い活動における協同的な学びの要因に関する研究	共著	2009 年 11 月	『理科教育学研究』, Vol.50, No.2, pp.69-80.

一小学校第 6 学年「電流のはたらき」の単元を事例として一			
②児童の相互作用を促す理科学習の開発に関する研究―「フリータイム」の導入による効果を中心に―	単著	2009 年 12 月	『広島大学大学院教育学研究科紀要第一部(学習開発関連領域)』第 58 号, pp.115-123.
③小学校理科におけるアクティブ・ラーニングの本質の探求―学習課題づくりとグループ間交流の方法に着目して―	共著	2017 年 3 月	『広島大学学部・附属学校共同研究紀要』, 第 45 号, pp.215-223.
④大学生がもつ電気と磁気の区別についての概念	単著	2023 年 3 月	『広島文教教育』第 37 巻, pp.19-31.
⑤小学校理科における電気や磁気を扱う単元での指導のポイント	単著	2024 年 3 月	『広島文教教育』第 38 巻, pp.23-30.
(3) 研究・作品発表	発表の年月		発表学会等
①席を離れて交流する学習形態に関する事例的研究	2009 年 8 月		日本理科教育学会第 59 回全国大会
②電気と磁気のエネルギーに対する小・中・大学生の見方や考え方に関する研究	2012 年 8 月		日本理科教育学会第 62 回全国大会
(4) 所属学会			
①日本理科教育学会			
②日本教科教育学会			
③初等教育カリキュラム学会			
④臨床教科教育学会			
⑤中国四国心理学会			